

第3回 川西北小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成24年1月21日（土）

午後1時半～3時半

場 所：コミュニティプラザ

参加人数：15名



1 グループワーク

本日は、第2回目で検討した「ありたい姿」の実現に向けて、「どういう取組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称するもの、またその実現に向けた活動の方針などを表すものとして「キャッチフレーズ」を考えた。

《A班》 安田さん、北上さん、梯さん、塩田さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	実現のための取組み
自然・伝統文化を守り活かす	自然・伝統文化を守り活かすまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化の継承が必要 神社を活用 ・ 伝統を守る意地がある ・ 猪名川の有効利用 ・ 豊かな自然に子どもたちが親しむ ・ 市内南部で緑が多いのでもっと利用することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きれいに清掃することでタバコのポイ捨てが減る 外出の機会が増える[個人/地域] ・ 若い人が主体に祭りを運営[地域]
道路・交通	誰もが安全に移動できるまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車がもっと走りやすい道 ・ 歩道のバリアフリー ・ バスの便を増やして欲しい ・ ベビーカーでも安全に通行できるまち ・ 電柱のないまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車優先の道路を見直す/切り下げを無くす[地域/行政] ・ 市・県・国の垣根を外す(どこでも一つの窓口が対応できるように)[地域/行政] ・ 総合窓口を作るべき[行政] ・ 中央北地区の開発に合わせた道路の整備[行政]

テーマ	ありたい姿	実現のための取り組み
高齢者が住みやすいまち	高齢者が住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者との同居ができる ・ 地域内での福祉施設の充実 ・ 高齢化が進む中安心して住める地域 ・ 地域全体、共有の場にもバリアフリーが整ったまち ・ 高齢者が気軽に外出できるまち ・ 認知症になっても安心して暮らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の個別に合った参加を促進する[地域] ・ 仲間作りのコーディネートを自治会でおこなう[地域] ・ 移動が困難な方にタクシー代を補助し、イベントに参加してもらっている[地域] ・ 空き家の把握を行う市への申し入れ[行政]
子育て	安心して子どもを育てられるまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が住みやすいまち ・ 安心して子どもを育てられるまち ・ 小児科の充実と子どものための補助制度の確立（病後児の保育） ・ 中学校との関係が上手くいっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婚活、出会いの場を作る[地域 / 行政]
気取らない互助のまち	気取らずお互いが助け合えるまち <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ当番を皆が手伝ってくれる ・ お互いが助け合えるまち 	-
利便性・住みやすさ	利便性の高さ、住みやすさを維持できるまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 文句をいいながらも住みやすいまち ・ 買い物に便利 ・ 災害が少ない ・ JR、電車、百貨店に近い 	-
新旧住民の交流	世代交代が円滑にできるまち 新旧住民、マンション住民との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンションぐるみで自治会入会をすすめる コミュニティからマンションのオーナーに申し入れる[地域]

【決まったキャッチフレーズ】

温故 + 知新 = 川西北地区



《B班》 酒井さん、瀬藤さん、前田さん、細川さん、清永さん、佐々木さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	実現のための取り組み
子どもの育成	<p>地域で子どもの豊かな環境を作れるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが外で遊ぶまちにしたい 放課後教室への協力 昔遊びの伝承 小学校の環境整備 子どもに注意、声かけできるおとなでありたい 	<ul style="list-style-type: none"> 老人会活動や自治会活動のリーダー的指導を行政で進める[地域/行政] 地域の施設の優先順位を決める[行政] 公園に時計を作る 学校の花壇などを地域のボランティアで作っていく
地域の活動	<p>魅力ある行事を大切にするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方達とコミュニケーションを取り、行事にも参加し、地域と関わっていききたい コミ盆踊り、PTCA文化祭の定着 ふれあいの場を多く作る(皆が気軽に参加できる) 地域活動(夏祭り、盆踊り、餅つき等の行事)の場所を移して実施して欲しい 自治会加入率の減少が残念 	<ul style="list-style-type: none"> 隣近所の方が自治会加入を呼びかける[個人/地域] 新規連絡の時や、確認申請のときに市の方から自治会加入をお願いして欲しい[行政]
世代を超えた交流	<p>笑顔で挨拶のできるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣近所に挨拶のできるまち 道で会って挨拶のできるつきあい方(高齢者は割合良く挨拶してくれるが、若い人との交流が少ない) 子どもも大人も安全で住みよいまちに 地域の活動行事を充実させて、大人も子どもも交流を深めていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> 行事を見直し魅力的にし、呼びかけPRを行う[地域] 各行事終了後の打ち上げ会(公園でのバーベキューなど)[地域] 子ども下校時の見守り

テーマ	ありたい姿	実現のための取り組み
自慢できる自然環境	豊かな自然とふれあえるまち <ul style="list-style-type: none"> 山あり川あり、自然環境が良い 北小の横の川にホタルの餌になるカワニナがいる 猪名川の流れ、自然が残っている 春に八坂神社の桜で花見ができる 自然を大切にするまち 	<ul style="list-style-type: none"> 老人会主催の花見、夏祭り、餅つきなどに公園を利用して[地域]
そのほかの意見	スポーツ21が誇れるまち <ul style="list-style-type: none"> ママさんバレー全国大会出場、三位入賞 高齢者が出歩けるまち <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の居心地の良い公園のあるまち(公園にベンチが足りない) 一人暮らしの人が気軽に連絡が取れ、相談できる地域 アップダウンの激しい地形につき、健脚になる ウォーキング(散歩)が気軽にできる場が欲しい その他 <ul style="list-style-type: none"> 主要駅に近く、大阪・神戸へ30分のベッドタウンで便利 	<ul style="list-style-type: none">

【決まったキャッチフレーズ】

開発で変化する街、足を活かして支える永寿の北地区



《C班》 吉村さん、中島さん、鈴木さん、小島さん、伊藤さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	実現のための取り組み
自然景観	自然と共生できるまち <ul style="list-style-type: none"> 地域には八坂公園があり、春にはさくらやウグイス、秋にはもみじなど、自然の移ろいを感じられ、それが自慢 昔、猪名川で遊んだように、自然と親しむことのできる空間 緑豊かな公園の多いまち 	<ul style="list-style-type: none"> 守りたい地域の景観マップを作成する[地域]

テーマ	ありたい姿	実現のための取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少なくとも地域内に公園と自治会館があるまち ・ 地域の桜等の緑の保全を進めていけるまち ・ 空気が澄んでいて気持ちが良い ・ 駅からしんどい思いをして昇ってくるが、上まで来て山を眺めたときは気持ちが良い 	
子育て	<p>子育て環境が整ったまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある公園をもっと子どもたちが遊びやすい環境にして欲しい ・ 子どもが自由に遊べる広場、遊具が欲しい ・ 赤ちゃんを連れて入れるトイレを公共施設に増やして欲しい ・ 自由にのびのびスポーツができる公園があるまち ・ 若い人が安心して住める保育園が充実しているまち ・ 子どもたちのために、各地区の自治会館が活用される ・ 子供会活動と自治会の連携がスムーズな地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体で子供を育てる（地域）
高齢者、障がい者への思いやり	<p>高齢者、障がい者への思いやりがあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の孤独死の少ないまち ・ 認知症の人が安心して住めるまち ・ 障がい者が安心して住めるまち ・ 電動カートを貸与、補助制度が欲しい ・ 移動販売者が頻繁に来てくれるまち（安い小売業者） ・ 小回りのきく乗用車を自治会が動かして欲しい（行政の補助） ・ 校舎の余剰を利用した市営老人ホームがあればよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域でサポートチームを創設する（地域）
世代間交流が活発なまち	<p>世代間交流が活発なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老若交流のチャンスが多く作れる自治会づくり ・ 自治会活動が活発なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔遊びの方法を親世代に教える[地域] ・ 地域イベントの活用による集客力アップ
安全・安心	<p>住民が安全安心して住めるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間でも往診してくれる医者、医院が多いまち ・ 安心できる総合病院が欲しい ・ 市内のOBに防災の見守り隊になって欲しい ・ 能勢電車の踏切をなくした安全なまちづくり（高架） ・ 県道に歩道をつけて欲しい ・ 住民が安全安心して住めるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック囲いのないまちづくりのルール化（交通事故防止）
そのほかの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の文化伝統を守り引き継いでいくことのできるまち ・ 地域の資源、財産を活かしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要品交換会の設立（自分に不要 他人に有用）

【決まったキャッチフレーズ】

地域の自然・支え合い・あいさつでつなぐ三世代



2 各班の発表概要

A 班

- ・ 問題として大事に思ったことに子育てや、子供の教育、高齢者対策があがった。
- ・ 中央北地区が開発されて大きく影響を受けるなか、どのようにまちづくりをしていくのかを考えていけないとならない。
- ・ 温故は古いものを活かしていく、知新は変化していく環境の中で進歩していく。こういった考え方を住民の皆さんに持ってほしいという思いでキャッチフレーズを考えた。



B 班

- ・ 中央北地区の開発が行われる一方、自然も多いこの地域で何をやっていくべきかを考えていかなければならない。
- ・ 北地区はこれから大きく変わるだろう。三つの駅があって交通の便がいい。このような環境で、地域の問題の高齢化を支えていかなければならない。キャッチフレーズにはこうした意図を込めた。



C 班

- ・ 景観マップ作り、地域サポートチーム、子供が安心



して遊べる環境づくりなどの取り組みが提案された。

- ・ 桜、ウグイスなどの地域の美しい自然、世代間交流には挨拶がどうしても必要、地域のサポートチームの取り組みは支え合いで高齢者などを助け合うということ。
- ・ 以上のような、地域に必要なフレーズをつなぎ合わせてキャッチフレーズとした。

3 おわりに

市：本荘総合政策部長よりひとこと。

- ・ キャッチフレーズをつくるのは難しい面もあるが、短い時間で地域の皆さんが意見を出し合って、一つにまとめていくことが大切なこと。
- ・ これからキャッチフレーズを持ち帰り、地域別の一つのキャッチフレーズにまとめた後、再度みなさんのご意見を伺いたい。